

TOEFL®テスト対策講座

※TOEFL®テスト対策講座は、(有)ビート米会話の講師が担当します。

TOEFL®テスト対策講座は、公式テストのTOEFL iBT®テストと、団体受験プログラムのTOEFL ITP®テストの両方に対応したコースを用意しています。みなさんの目的・ニーズに応じてコースを選択してください。

Listening & Readingコース

Listening・Readingの各セクションに、文法(Structure)を加えた英語の基礎力を固めることを目的としています。英語団体受験(TOEFL ITP®テスト)の対策を希望する方は、このコースを受講してください。また初めてTOEFL®テストを受験する方も、まずこのコースからスタートすることをお勧めします。このコースでは、Listening・Readingセクションの対策に加え、総合的な英語力の向上を見据えたトレーニングを行います。英語で発話する機会も取り入れながら、アグレッシブな学習を提供します。

Speakingコース

公式テスト・TOEFL iBT®テストで課せられる Speakingセクションへの対策を目的としたコースです。以前にTOEFL®テスト対策講座を受講したことがある方、Speaking対策の学習を集中的に行いたい方にお勧めのコースです。Speakingセクションは、発音・単語や文法の正確性、話の展開やつながりなどの構成力がチェックされます。講義は主にネイティブ講師が担当し、英語特有の表現法や役に立つ表現フレーズの習得、TOEFL®テスト特有の問題への対応力の養成を目指します。

Writingコース

TOEFL iBT®テストのWritingセクションへの対策を目的としたコースです。Writingセクションでは、文法・量・内容が重要なポイントです。複合問題(Integrated task)ではリスニング・リーディングのスキルと構成力が問われるなど、TOEFL®テスト特有の問題への対応が不可欠です。このコースではそれに向けた対策を重視し、解答を論理的に表現する力の養成を目指します。課題に対してエッセイを作成・提出し、ネイティブ講師による添削指導により「Writing」に必要な構成力を習得します。

※このコースは4コマの授業と、4回の通信添削で行われます。

■ 受講コースの選択について

TOEFL®テスト対策講座は上記3コースを開講します。受験するテスト(公式テスト:TOEFL iBT®テスト、学内英語団体受験:TOEFL ITP®テスト)に応じた対策や、セクションごとに集中して学習したいなど、みなさんの目的・ニーズに応じて受講するコースを選択してください。また受験する時期により、受講コースの時期を分けて受講するなど、ご自身にあった受講パターンを選択できます。

【コース選択のパターン例】

学内団体受験(TOEFL ITP®テスト)の対策をしたい方はじめてTOEFL®テストを受験する方

➡ Listening & Reading

同じタイミングで全コース受講

公式テスト(TOEFL iBT®テスト)受験に向けて4技能の対策をしたい方【パターンA】

➡ Listening & Reading

+ Speaking + Writing

春セメスターで受講

夏期集中で受講

公式テスト(TOEFL iBT®テスト)受験に向けて4技能の対策をしたい方【パターンB】

➡ Listening & Reading

➡ Speaking + Writing

Speakingを集中して学習したい方

➡ Speaking

Writingを集中して学習したい方

➡ Writing

■ プレイスメントテスト・アチーブメントテスト:TOEFL ITP®テスト デジタル版

Listening & Readingコース受講生の方は、講座開始前・終了後のプレイスメントテスト・アチーブメントテストとして実施するTOEFL ITP®テスト デジタル版を**無料で受験することができます**。皆さん自身の英語力を正確に把握し、また講座での学習の成果を検証することを目的としていますので、全員必ず受験してください。

*春セメスター講座のアチーブメントテストは、6月に実施される学内英語団体受験(TOEFL ITP®テスト デジタル版)と合同で実施します。検定料補助制度(無料受験)の対象となっている学部・回生の方は、検定料補助制度と講座のアチーブメントテストとで複数回受験することはできませんのでご注意ください。*詳細は講座内で案内します。

*Listening & Readingコースの受講を申し込まれた方で、プレイスメントテスト受験後に受講をキャンセルした場合は、受験料(3,400円)をお支払いいただきます。



ATTENTION

本講座は受講終了後に公式テスト:TOEFL iBT®テストの受験を推奨しており、アチーブメントテストとして位置づけ、公式テストの受験料の一部を補助します。

詳細は、本要項の14ページの「CLAの検定料補助制度」をご覧ください。

受講料

〔コース名〕	〔在学生〕	〔在学生以外〕
Listening & Reading	32,000 円	40,000 円
Speaking	11,000 円	14,000 円
Writing	11,000 円	14,000 円

※「在学生」は、学部・大学院の正規学生です。

受講申込方法は次のページをご覧ください。

- ◆Zoomによるオンライン講座です(録画配信はありません)。キャンパス内で受講される場合は、発話ができる自習室等をご利用ください。
- ◆各コース1クラス開講です。**クラス定員は、各コース20名**です。申込は先着順で受け付け、申込者が定員を超過した場合は「キャンセル待ち」となります。
- ◆各コースの最少催行人数は、**Listening&Readingコースが 15名、Speakingコースが 14名、Writingコースが 6名**とします。
受講申込者数が最少催行人数を下回った場合は「閉講」となることがあります。
- ◆休講となる場合は、講座日程を繰り下げて、予備日を利用して授業を行います。また諸事情により講座日程の変更や担当講師の変更が生じる場合があります。その場合は、事前に受講生の皆さんにお知らせします。

春semester講座 【オンライン講座】

Listening & Reading コース

申込期間	3 / 20 (月) ~ 4 / 24 (月)
開講発表	4 / 27 (木) 17:00
コマ数	開講日
★ プレイメントテスト	TOEFL ITP®テスト デジタル版 5 / 1 (月) 18:00
1・2	5 / 11 (木)
3・4	5 / 15 (月)
5・6	5 / 18 (木)
7・8	5 / 22 (月)
9・10	5 / 25 (木)
11・12	5 / 29 (月)
13・14	6 / 1 (木)
15・16	6 / 5 (月)
17・18	6 / 8 (木)
19・20	6 / 12 (月)
予備日	6 / 15 (木)
★アチーブメントテスト 学内英語団体受験と合同で実施 TOEFL ITP®テスト デジタル版 6 / 22 (木) 18:00 または 6 / 23 (金) 18:00	

Speaking コース

申込期間	3 / 20 (月) ~ 6 / 16 (金)
開講発表	6 / 19 (月) 17:00
コマ数	開講日
1・2	6 / 26 (月)
3・4	6 / 29 (木)
5・6	7 / 3 (月)
7・8	7 / 6 (木)
9・10	7 / 13 (木)
予備日	7 / 17 (月)

Writing コース

申込期間	3 / 20 (月) ~ 4 / 24 (月)
開講発表	4 / 27 (木) 17:00
コマ数	開講日
1・2	5 / 8 (月)
★	4回の通信添削 ※詳細は下表参照
3・4	7 / 10 (月)

●授業は1回 90分、1日2コマ実施
①18:00~19:30 ②19:40~21:10

夏期集中講座 【オンライン講座】

Listening & Reading コース

申込期間	6 / 19 (月) ~ 7 / 16 (日)
開講発表	7 / 19 (水) 17:00
コマ数	開講日
★ プレイメントテスト	TOEFL ITP®テスト デジタル版 7 / 21 (金) 18:00
1・2 (*1)	8 / 2 (水)
3・4・5	8 / 3 (木)
6・7・8	8 / 4 (金)
9・10・11	8 / 5 (土)
12・13・14	8 / 7 (月)
15・16・17	8 / 8 (火)
18・19・20	8 / 9 (水)
予備日 (*2)	8 / 10 (木)
★ アチーブメントテスト	TOEFL ITP®テスト デジタル版 8 / 10 (木) 14:00
【 Listening & Readingコース 】 ●授業は1回 90分、1日2~3コマ実施 ① 9:30~11:00 ②11:10~12:40 ③13:40~15:10 (*1) 8/2の授業は、上記①②の時間で実施 (*2) 補講が発生した場合、8/10の上記①の時間で実施	

Speaking コース

申込期間	6 / 19 (月) ~ 8 / 6 (日)
開講発表	8 / 9 (水) 17:00
コマ数	開講日
1・2	8 / 28 (月)
3・4	8 / 29 (火)
5・6	8 / 30 (水)
7・8	8 / 31 (木)
9・10	9 / 1 (金)
予備日	9 / 2 (土)
【 Speakingコース 】 ●授業は1回 90分、1日2コマ実施 ①9:30~11:00 ②11:10~12:40	

Writing コース

申込期間	6 / 19 (月) ~ 7 / 16 (日)
開講発表	7 / 19 (水) 17:00
コマ数	開講日
1・2	8 / 2 (水)
★	4回の通信添削 ※詳細は下表参照
3・4	9 / 4 (月)
【 Writingコース 】 ●授業は1回 90分、1日2コマ実施 ① 13:40~15:10 ②15:20~16:50	

Writingコース 通信添削のスケジュール

春semester講座		第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	募集人数
	課題提示日時	5/8(月) 10:30	5/22(月) 10:30	6/5(月) 10:30	6/19(月) 10:30	20
	解答提出期間	5/15(月) ~17(水) 正午	5/29(月) ~31(水) 正午	6/12(月) ~14(水) 正午	6/26(月) ~28(水) 正午	
	添削結果返却日	5/24(水)	6/7(水)	6/21(水)	7/5(水)	
夏期集中講座		第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	募集人数
	課題提示日時	7/30(日) 10:30	8/6(日) 10:30	8/13(日) 10:30	8/20(日) 10:30	20
	解答提出期間	8/3(木) ~5(土) 正午	8/10(木) ~12(土) 正午	8/17(木) ~19(土) 正午	8/24(木) ~26(土) 正午	
	添削結果返却日	8/8(火)	8/15(火)	8/22(火)	8/29(火)	

Writingコースでは「課題提示日」の午前10時30分に、Google Classroomにより各回の課題を掲載します。解答は各回で定められた提出期間にGoogle Classroomへ提出してください。

*解答提出期間は、最終日の正午を提出区切としますので、ご注意ください。

*複数回をまとめて提出することはできません。また解答提出期間を過ぎて提出されても添削はできませんので、ご注意ください。

■ 受講申込方法 ★必ずよく読んで手続きを行ってください。

Step1 Web申込

CLA講座はすべてWeb申込です。

- 立命館大学言語習得センターのホームページにアクセスしてください
<https://www.ritsumeai.ac.jp/genko/cla/> *右のQRからもアクセス可
- Web画面の「[受講申込はこちら](#)」をクリック、申込手順を確認して画面下「[受講申込画面へ](#)」からWeb入力フォームに進み、必要事項を入力してください。
*在学生の方は、Web申込の際は学内RAINBOWメールアドレスを登録してください。
- 入力後「[確認画面](#)」に進み、内容を確認して「[送信](#)」ボタンをクリックして受講料の支払画面に進んでください。



Step2 受講料の 支払い

受講料の支払いは、クレジット決済・コンビニ決済のどちらかを選択してください。



●クレジット決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。入力手続きが終了した時点で受講料の支払いが完了します。



●コンビニ決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。入力完了後に支払いの案内メールが届きますので、選択したコンビニエンスストアで支払いをお願いします。

*コンビニ決済での支払いは、[Web申込日を含めて3日以内](#)に行ってください。
3日を過ぎると自動的にキャンセルとなります。自動キャンセル後に受講を希望する場合は最初からWeb申込を行ってください。

★例えば、金曜日にWeb申込をした場合



受講申込 完了

受講料支払い終了後、CLA事務局で申込内容・入金を確認します。
確認後に「[受講案内\(シラバス\)](#)」をWeb申込時の登録メールアドレス宛に送信しますので、必ず内容を確認のうえ受講に備えてください。



受講申込にあたっての注意事項

- 受講申込は「先着順」で受け付けます。同一講座の同一コースを重複して申し込むことはできません。
*CLA講座は在学生(正規学生)の学習支援を目的としており受講申込は在学生を優先とします。教職員・卒業生・一般の方の受講について、在学生にキャンセル待ちが発生した際には、受講を辞退していただく場合がありますので、ご了承ください。
- Web申込が終了すると、申込時の登録メールアドレス宛に「[受講申込確認メール](#)」が配信されます。このメール受信を必ず確認し、受講開始まで必ず保管しておいてください。
- コンビニ決済を選択した方には、「受講申込確認メール」とは別に、[コンビニ決済に関する案内メール](#)が届きますので、その案内にしたがって、[Web申込日を含めて3日以内](#)に支払いを行ってください。
- 受講定員を上回った時は「キャンセル待ち」となり、キャンセルが発生した場合に、順次繰り上げて「[空席案内メール](#)」を配信します。こまめにメールをチェックし、メール受信後は速やかに受講料の支払いを行ってください。
- 申し込んだ講座受講をキャンセルする場合は、「受講申込確認メール」の本文下にキャンセルフォームのURLが表示されていますので、そのURLにアクセスしてキャンセルしてください。



ATTENTION

CLA講座は最少催行人数を下回った場合に「**閉講**」となることがあります。受講人数が最少催行人数を上回り「**開講**」が決定した場合は、CLAのホームページ内・各講座のページにある「講座スケジュール」に「**開講決定**」と表示します。必ずこのページで「開講決定」を確認して、テキストを購入してください。

(表示例)



【CLA講座のキャンセルポリシー】

受講申込者が受講料の支払いを完了し、「受講案内」を受領した時点をもって「受講申込完了(契約締結)」となります。

受講申込者が受講をキャンセルする場合の受講料の取り扱いについては、下記の通りとします。

- ① 受講開始日の第1回の授業開始時間よりも前に受講辞退の申し出があった場合(*)は、受講料を全額返還します。
- ② 受講開始日の第1回の授業開始時間以降に受講辞退の申し出があった場合(*)は、受講料は返還しません。
- ③ 大学側の都合により講座が開講中止となった場合、または受講を辞退していただく場合は、受講料を全額返還します。
- ④ 大学側の責に帰す事由(募集要項の記載ミス、明らかな説明・手続きミス等)により受講生が受講できなくなった場合は、未実施分の受講料を返還します。
この場合の返還金額の算出方法は、受講料を総コマ数で按分して1コマ単価に未受講分コマ数を乗じた金額とします(1円未満は切り捨て)。
- ⑤ プレイメントテストを受験した後に受講をキャンセルした場合は、所定のプレイメントテスト受験料をお支払いいただきます。

(*) 辞退の申し出は、来室・電話の場合は言語習得センターの窓口時間内に、メールの場合は上記①の授業開始時間までに申し出てください。

(*) Writing添削コースについては、第1回目の課題提示日時を授業開始時間とします。

※言語習得センターの窓口時間・連絡先については、本募集要項裏表紙に記載しています。

CLAの検定料補助制度

CLA講座のTOEFL®テスト対策講座・IELTSテスト対策講座では、アチーブメントテストとして、講座終了後に公式テストの受験を推奨し、下記の通り検定料の一部を補助します。ぜひこの機会を活用して、検定試験にチャレンジしてください。

対象となる講座と検定試験

- TOEFL®テスト対策講座
「**Listening & Readingコース**」に加えて、
「**Speakingコース**」・「**Writingコース**」の両方
もしくはいずれかのコースの受講生は、
TOEFL iBT®テスト(公式テスト)を補助対象とします。
- IELTSテスト対策講座
「**総合コース**」の受講生は、
IELTSテスト(公式テスト)を補助対象とします。

補助額

10,000円

* 補助金はテスト受験後の申請に基づき指定口座への振込とします。



申請方法

- ◆ 応募条件 次の3つの条件をすべて満たしていることが申請要件となります。
 - ① 立命館大学の在学生(学部生・大学院生)の正規生であること。
 - ② 上記の補助対象講座の2023年度受講生であること。
 - ③ 対象講座の総コマ数に対して80%以上の出席率であること。
- ◆ その他要件
 - ・ 検定料の補助申請は、1回の講座受講につき1回限りとします。
 - ・ 講座終了日以降、終了日を含め**60日以内に受験した検定試験が対象**となります。
 - * 春期集中講座の補助対象となる検定試験は、2024年3月17日(日)の受験分までとなります。
 - * 2023年度講座受講生の申請受付は、2024年3月21日(木)まで(必着)とします。



- ◆ 申請方法 下記の書類を揃えて**受験日から30日以内に**、言語習得センター(CLA)窓口申請者本人が提出してください。

① 申請書「2023年度CLA講座 検定料補助申請書」(*)	1通
② 検定料納付書(領収書)のコピー、その他支払いを証明するもの	1通
③ 検定試験のスコアレポート(成績証明書)のコピー	1通

※ 申請書は言語習得センター(CLA)のホームページからダウンロードできます。CLA窓口でも配布します。
※ スコアレポート(成績証明書)の発行が申請期日までに間に合わない場合は、上記提出書類の①②のみを提出し、③のスコアレポートのコピーは、手元に届き次第追加で提出してください。
※ 申請書提出の際は、本人確認のため必ず学生証の提示をお願いします。
※ 補助金の振り込先口座は、申請者本人名義のものに限ります。

〔郵送での提出〕 申請書を郵送で提出する場合は、下記宛に送付してください。郵送の場合は、提出期日までに必着とします。 ※上記提出書類①②③に加え、学生証のコピーも必ず同封してください。

【送付先】 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
立命館大学 言語教育企画課 CLA検定料補助担当 宛

テストについて知る TOEFL®テスト



TOEFL®テストは、英語を母国語としない人の英語力を測定するテストです。世界160ヶ国以上、11,500以上の団体で実施され、受験者数は年間で約110万人となっています。英語圏の大学などへの留学や海外研修プログラムなどに応募する際に、TOEFL®テストのスコアが求められることも多く、海外留学へのパスポートとも言えるテストです。

TOEFL®テストには、公式テスト: **TOEFL iBT®テスト**と、学校などが実施する団体受験プログラム: **TOEFL ITP®テスト**の2種類があります。テストの内容、スコアとその利用範囲が異なりますので、求められる要件を確認して、どちらのテストを受験するかを選択してください。

■ TOEFL®テストの試験概要・構成

◆ TOEFL iBT®テスト

現在国内で実施されている公式テストで、受験はコンピュータを使って行われます。Listening, Reading, Speaking, Writingの4つのセクションからなり、試験時間は約3時間です。スコアは0~120で表示されます。非常に難易度の高いテストです。

★公式テストとして実施されていたマークシート方式のテスト(TOEFL®PBTテスト)は、現在日本では実施されていません。

Section	問題数・形式	時間	スコア
Reading	3~4 Reading Passages (各10問) アカデミックな長文読解問題(自然科学・社会科学・芸術などの分野から出題)	54~72分	0~30
Listening	3~4 Lectures(各6問)/2~3 Conversations(各5問) 幅広い教養科目を題材にした講義、教授と生徒との会話などを題材とした出題	41~57分	0~30
Speaking	Independent Task(1問)/Integrated Tasks(3問) 身近なトピックについて意見を述べる/読み・聞きした内容を要約して話す	17分	0~30
Writing	Integrated Task(1問) 読み・聞きした内容を要約する	20分	0~30
	Independent Task(1問) 設問に対する自分の意見を書く	30分	
合 計		約3時間	0~120

★2023年7月26日以降、iBTテストの形式が変わります。試験時間が約2時間に短縮され、出題数・出題形式が一部変更されます。詳細は、TOEFL®テスト日本事務局のホームページ(<https://www.toefl-ibt.jp/>)をご確認ください。

◆ TOEFL ITP®テスト

大学などの団体向けプログラムで、マークシート方式とオンライン方式(TOEFL ITP®テスト デジタル版)があります。Listening, Structure, Readingの3つのセクションからなり、試験時間は約2時間、スコアは310~677で表示されます。マークシート方式とオンライン方式では、出題・解答形式、スコア評価など同一内容で実施されます。

★TOEFL ITP®テストのスコアは公式スコアではありませんが、公式のスコアと高い相関性があるとされ、学内の留学プログラムや大学院進学・就職活動などの多くのケースでそのスコアを利用することができます。ただし、スコアの利用の可否については、必ず事前に提出先に確認してください。

Section	問題数・形式	時間	スコア
Listening Comprehension	PartA 二人の話し手の会話	約37分	31~68
	PartB PartAより少し長めの会話		
	PartC 短めの話		
Structure and Written Expression	標準的な文章表現や文法の知識を測定。文中の下線部に正しい語句を補充し文章を完成させる問題や文章中の誤った表現を選択する問題 (40問)	25分	31~68
Reading Comprehension	大学の授業で取り上げられるようなトピックについて読解力を測定。社会科学や自然科学などの幅広い分野から出題される。(50問)	55分	31~67
合 計		約2時間	310~677

■ TOEFL®テストのスコアレベルについて

iBT	ITP	ガイドライン	必要とされるスコア
100-120	600-677	ビジネスや大学生活を送るうえで、会議や授業で普通に話すネイティブスピーカーの言葉も困難なく聞き取り、不自由なくコミュニケーションができる。	海外大学院留学や海外でのビジネス 海外の学部留学 国内大学院進学
79-100	550-600	ビジネスや大学等の場面で、会議や授業で普通に話すネイティブスピーカーの言葉が聞き取れ、柔軟なコミュニケーションがとれる。議論や様々な話題についていけ、質疑応答も可能。	
61-79	500-550	日常会話のコミュニケーションはほぼ支障がない。ビジネスや講義で自分の専門分野や興味のある話題に関して内容を理解でき、自分の意見を説明したり、明確な文書を作成できる。	
45-61	450-500	ビジネス・日常生活において一般的な事柄について、内容を理解し自分の考えを表現できる。	大学在学中に 目指したいレベル
32-45	400-450	日常的な事柄や仕事に関する簡単な文書を読むことができる。通常の会話で自分と関係のあることに関して簡単な言葉でコミュニケーションが可能。	
17-32	350-400	日常よく使われる表現や基本的なフレーズを用いて必要最小限のコミュニケーションが出来る。	

TOEFL®テストのスコアレベルと、英語運用能力の関係についてまとめたのが左の表となります。英語学習の目標を考える際の参考としてください。

海外留学に必要なスコアとしては、英語圏の大学進学の場合、iBTで80点が目安と言われています。大学や参加するプログラムにより幅がありますので、留学先の応募要項などで確認してください。

テストに関する詳しい情報・申込方法などは
下記運営団体のホームページをご覧ください。

ETS Japan 合同会社 TOEFL®テスト日本事務局
<https://www.toefl-ibt.jp/toefl-ipt/>